号外編

レッツ Let's 食育

<こ食>と<共食>について知ろう!

～家庭・地域社会における食育の推進～

食育推進キャラクター

<p>7つの「こ食」</p> <p>これらの「こ食」は、日々の栄養バランスや食の好み偏りがやすく、食事のマナーが身につけにくいなどの要因になります。</p>	<p>小食</p> <p>：1回の食事量が少なく、少量しか食べないこと（過度なダイエットのために食べる量を減らすこと）</p>
<p>孤食</p> <p>：家族等が不在で、一人で食事をする事</p>	<p>固食</p> <p>：同じもの（決まったもの、好きなもの）ばかり食べる事</p>
<p>個食</p> <p>：一緒に食卓を囲んでいても、それぞれ違う物を食べている状態</p>	<p>濃食</p> <p>：濃い味付けのものばかり食べる事</p>
<p>子食</p> <p>：親不在で、子どもだけで食事をする事</p>	<p>粉食</p> <p>：パン、麺類など粉のものばかり食べる事</p>

「こ食」が問題視される理由

- 理由① 栄養バランスが偏りやすくなる（好きなものばかり食べる、食べる量・食材が少ない等）
- 理由② コミュニケーションの機会が減り、協調性や社会性が育ちにくくなる・人間関係が希薄になる
- 理由③ 正しい食事マナーを覚える機会が少なくなってしまう

「共食」

<p>家庭での共食</p>	<p>地域での共食</p> <p>(こども食堂) (職場・友人) (ふれあいあい会食) (料理教室)</p>
--	--

第四次かごしま食育推進計画の目標

- 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加 (現状) 週 10.1 回 → (目標) 週 11 回以上
- 地域等で共食したいと思う人が共食する割合 (現状) 77.6% → (目標) 85%以上